

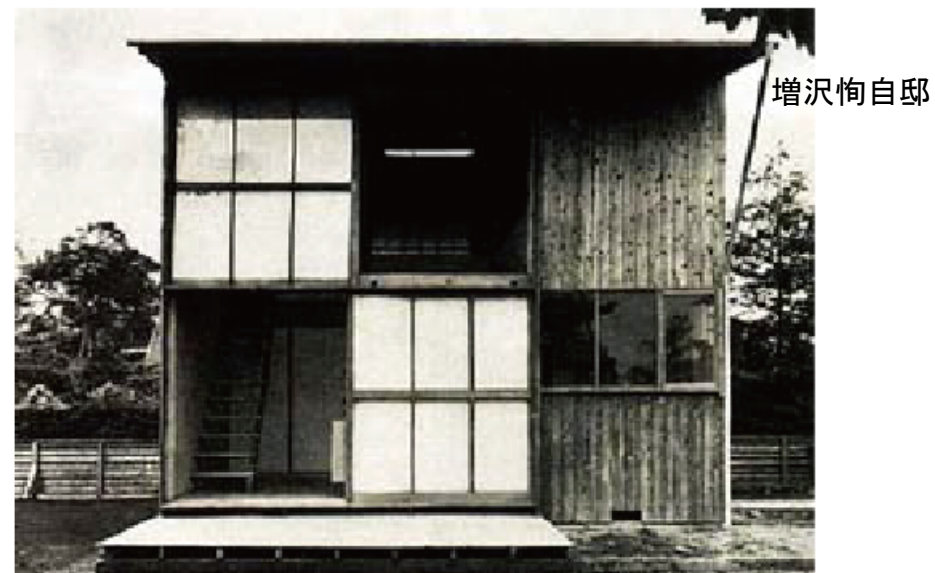
大型住宅の計画手法

—延べ床面積500m²以上の住宅を対象として—

坂牛研究室

鈴木邦洋

1-1. 研究の背景・目的



◆背景・目的

◆対象

◆方法

◆分析

◆結論

1-1. 研究の背景・目的



◆背景・目的

◆対象

◆方法

◆分析

◆結論

1-1. 研究の背景・目的



延べ床面積の大きな住宅の計画手法



◆背景・目的

◆対象

◆方法

◆分析

◆結論

1-2. 研究対象

建築専門誌 『新建築住宅特集』

1985年～2012年 約28年間

条件

延べ床面積500㎡以上

3世帯以上が複合して居住する場合は除外



1-3. 研究方法

・ 建築の構成要素による分類

・ 平面図による分析



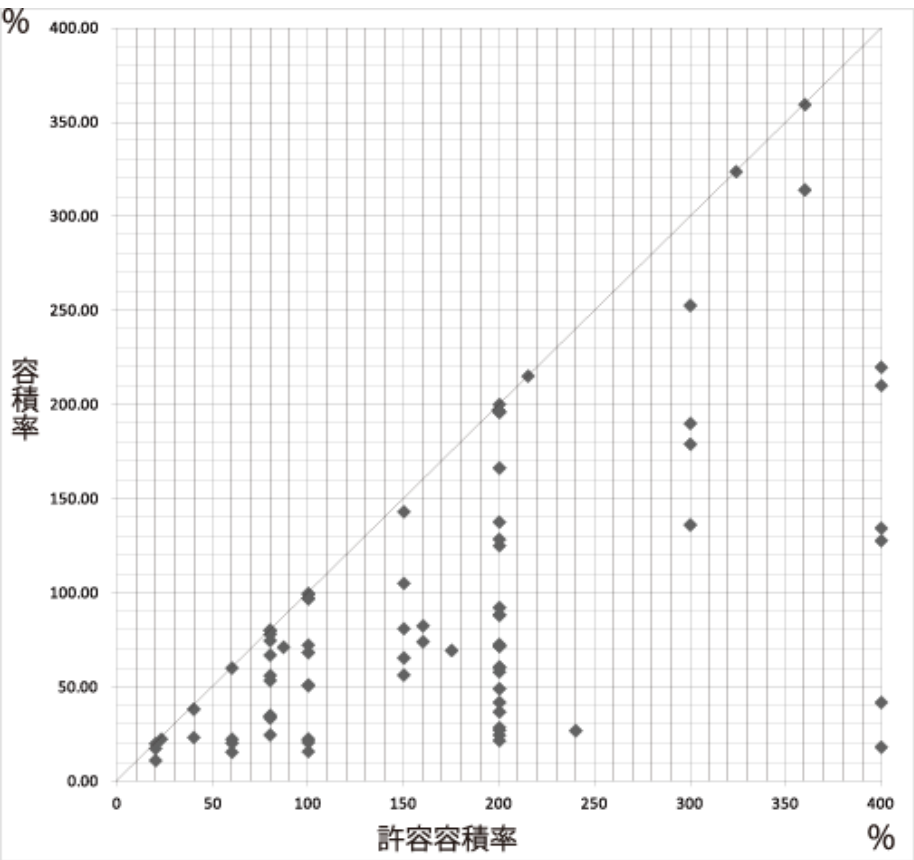
1-3. 研究方法

- ・ 建築の構成要素による分類
- ・ 平面図による分析

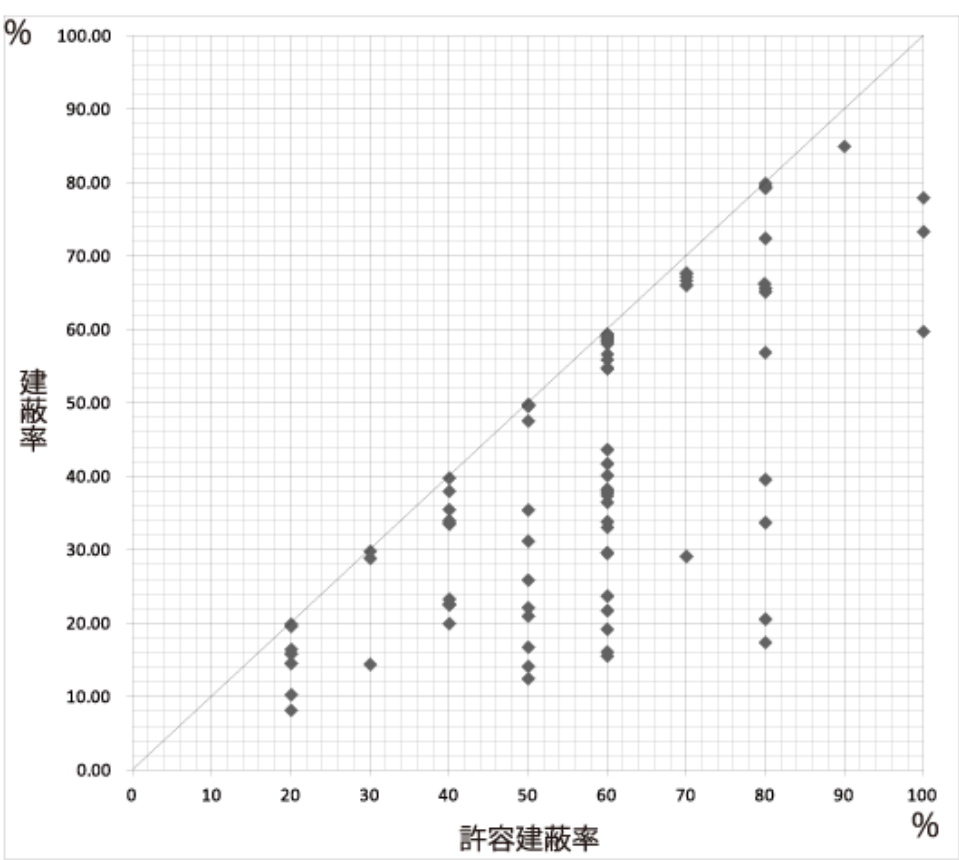


2. 基礎データによる分析

2-1. 容積率と建蔽率



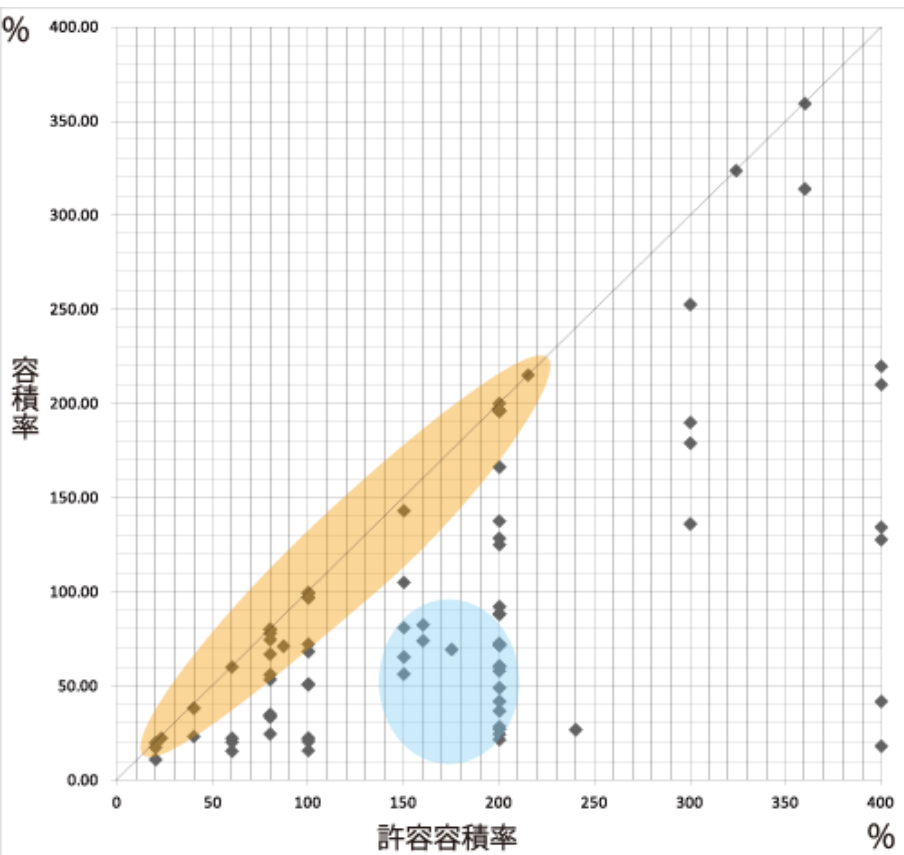
容積率－許容容積率



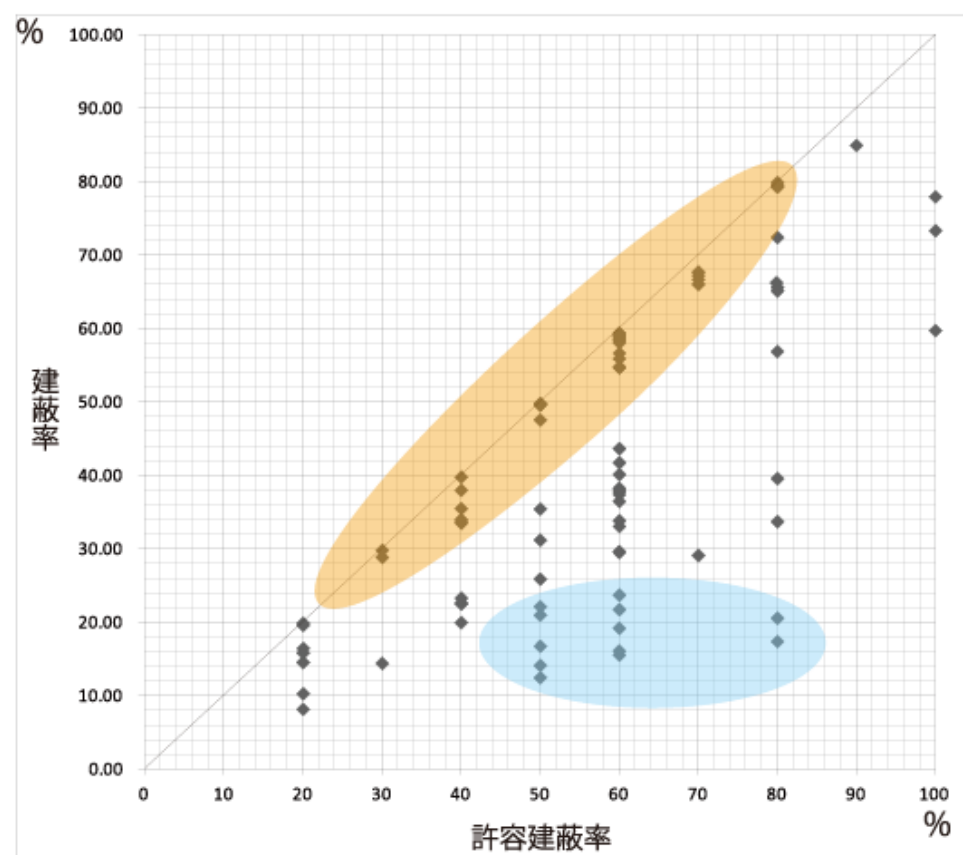
建蔽率－許容建蔽率

2. 基礎データによる分析

2-1. 容積率と建蔽率

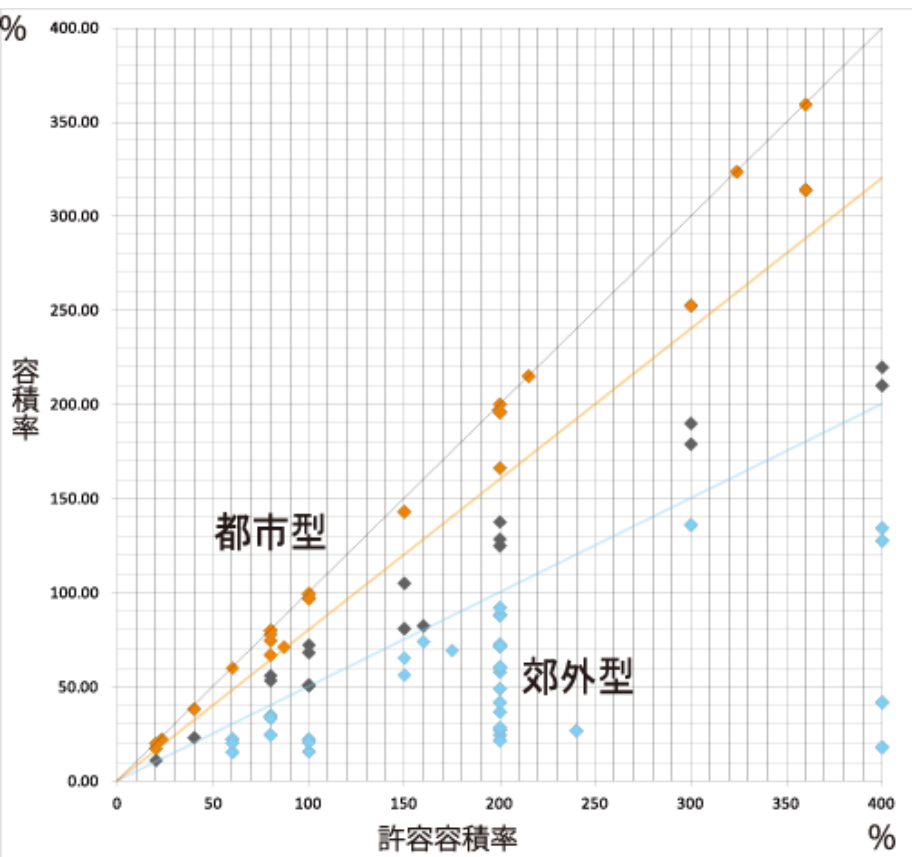


容積率－許容容積率

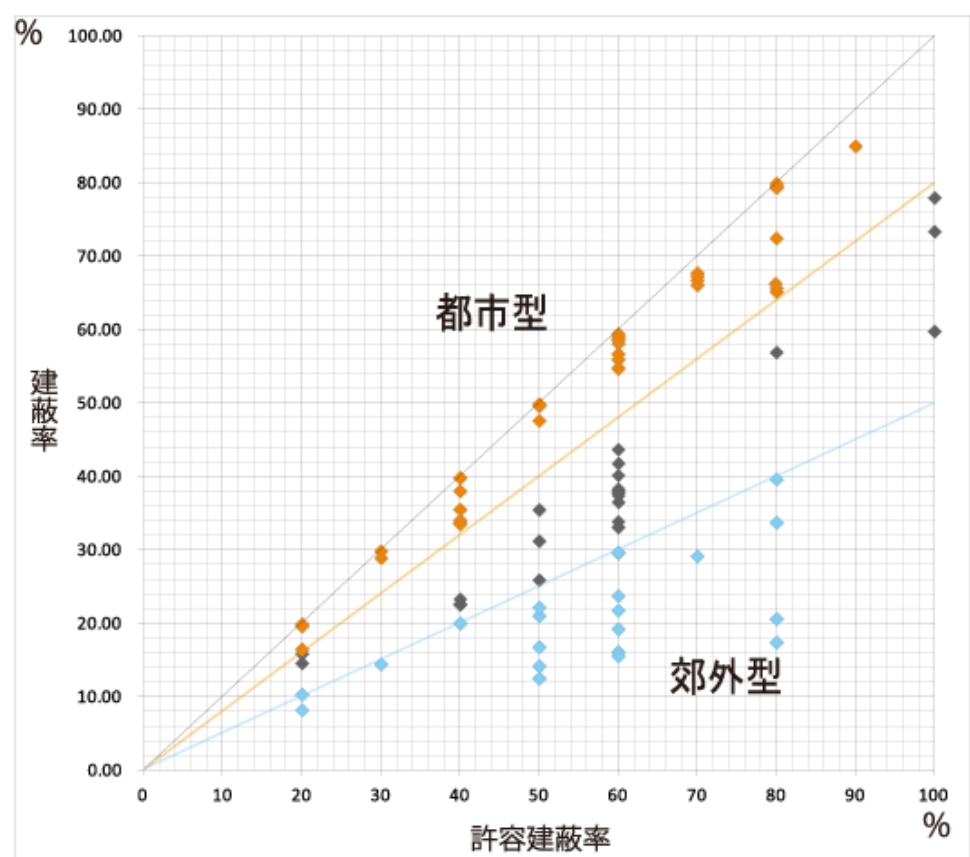


建蔽率－許容建蔽率

2. 基礎データによる分析
2-1. 容積率と建蔽率



容積率－許容容積率



建蔽率－許容建蔽率

2. 基礎データによる分析

2-2. 面積の大きい空間

(1) 室の種類と数(住宅内で一番大きい室)

室名	数（個）
居間	25
リビング	17
サロン	7
応接室	7
ダイニング	7
ファミリールーム	2
その他	34



2. 基礎データによる分析

2-2. 面積の大きい空間

(1) 室の種類と数(住宅内で一番大きい室)

室名	数（個）
居間	25
リビング	17
サロン	7
応接室	7
ダイニング	7
ファミリールーム	2
その他	34



2. 基礎データによる分析

2ー2. 面積の大きい空間

(1) 室の種類と数(住宅内で一番大きい室)

室名	数（個）
居間	25
リビング	17
サロン	7
応接室	7
ダイニング	7
ファミリールーム	2
その他	34

2. 基礎データによる分析

2-2. 面積の大きい空間

(1) 室の種類と数(住宅内で一番大きい室)

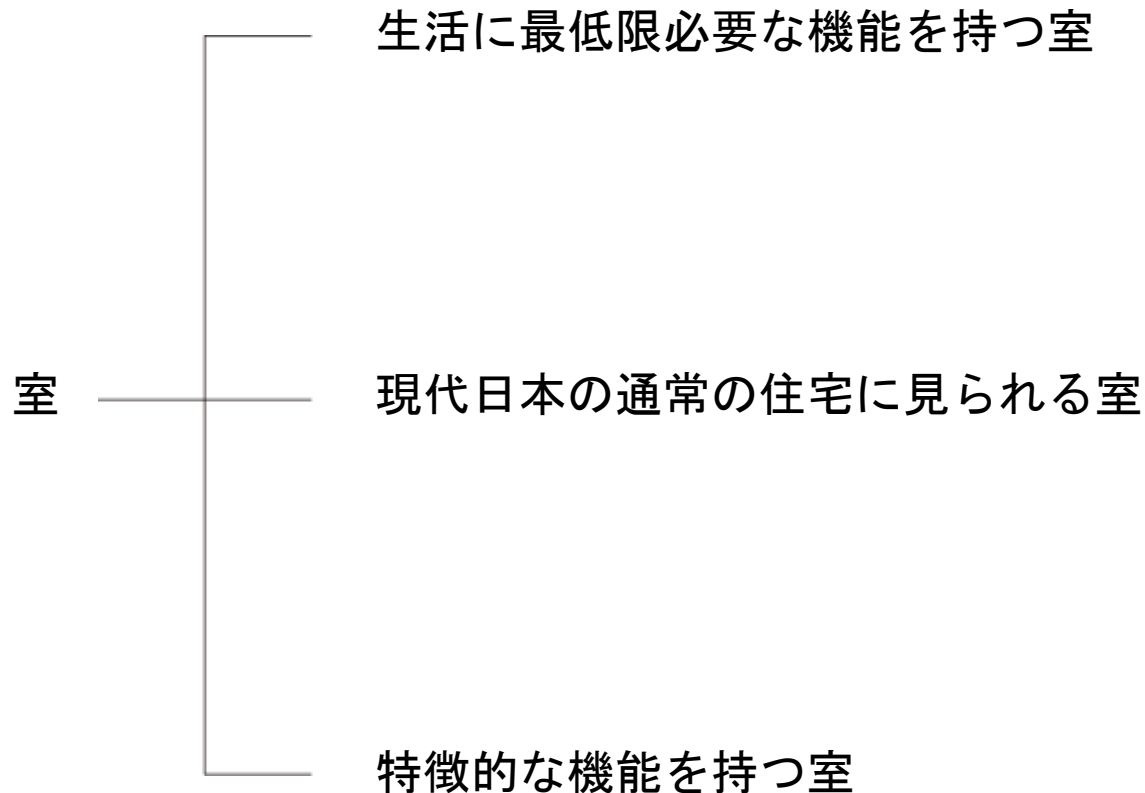
室名	数（個）
居間	25
リビング	17
サロン	7
応接室	7
ダイニング	7
ファミリールーム	2
その他	34

- ・スタジオ
- ・アトリエ
- ・トレーニングルーム
- ・寝室
- ・コンサートホール
- ・会議室
- ・レセプション
- ・コミュニティホール
- ・オペラハウス

2. 基礎データによる分析

2-2. 面積の大きい空間

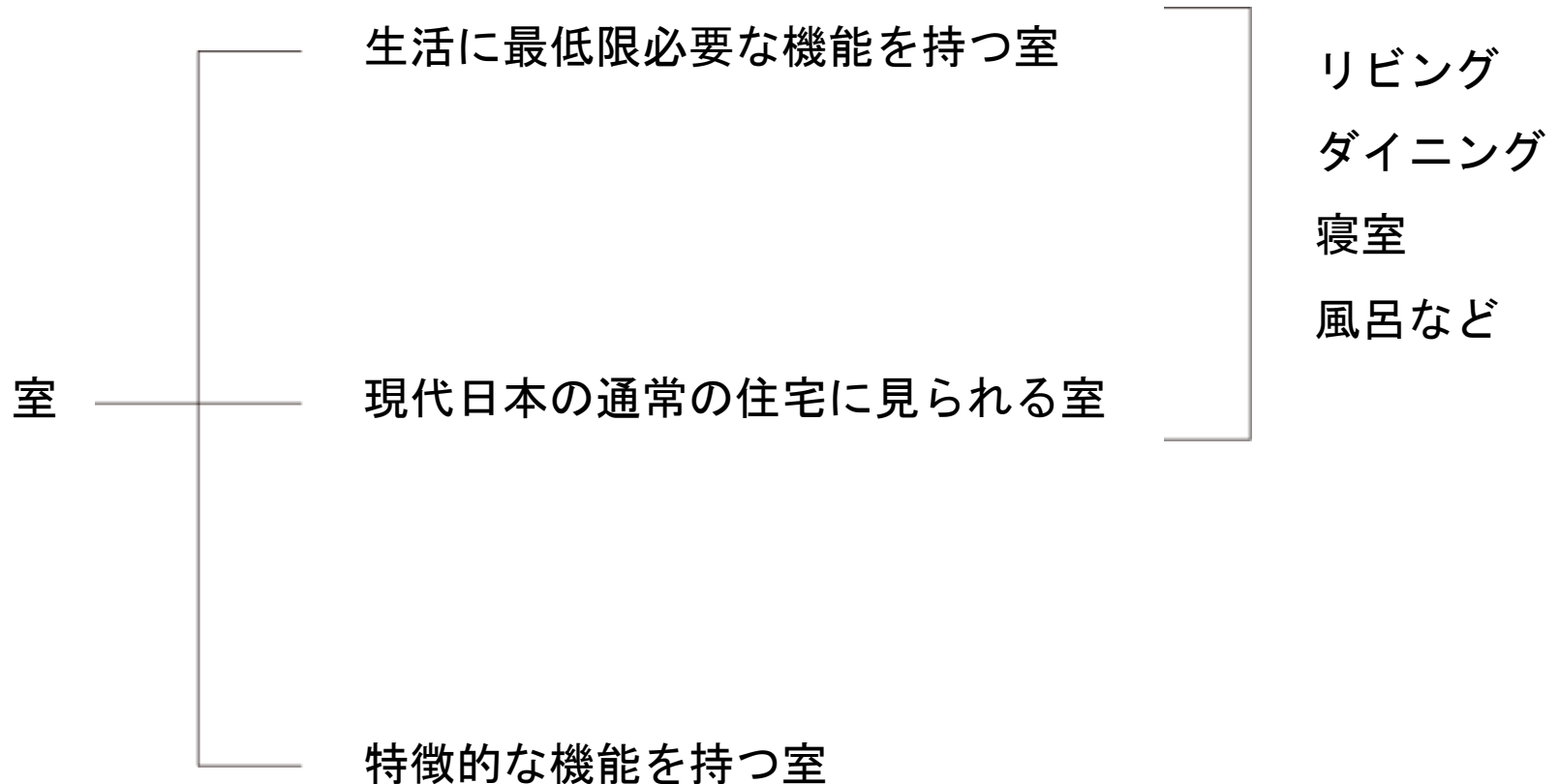
(2) 特徴的な室(住宅内で大きい室)



2. 基礎データによる分析

2-2. 面積の大きい空間

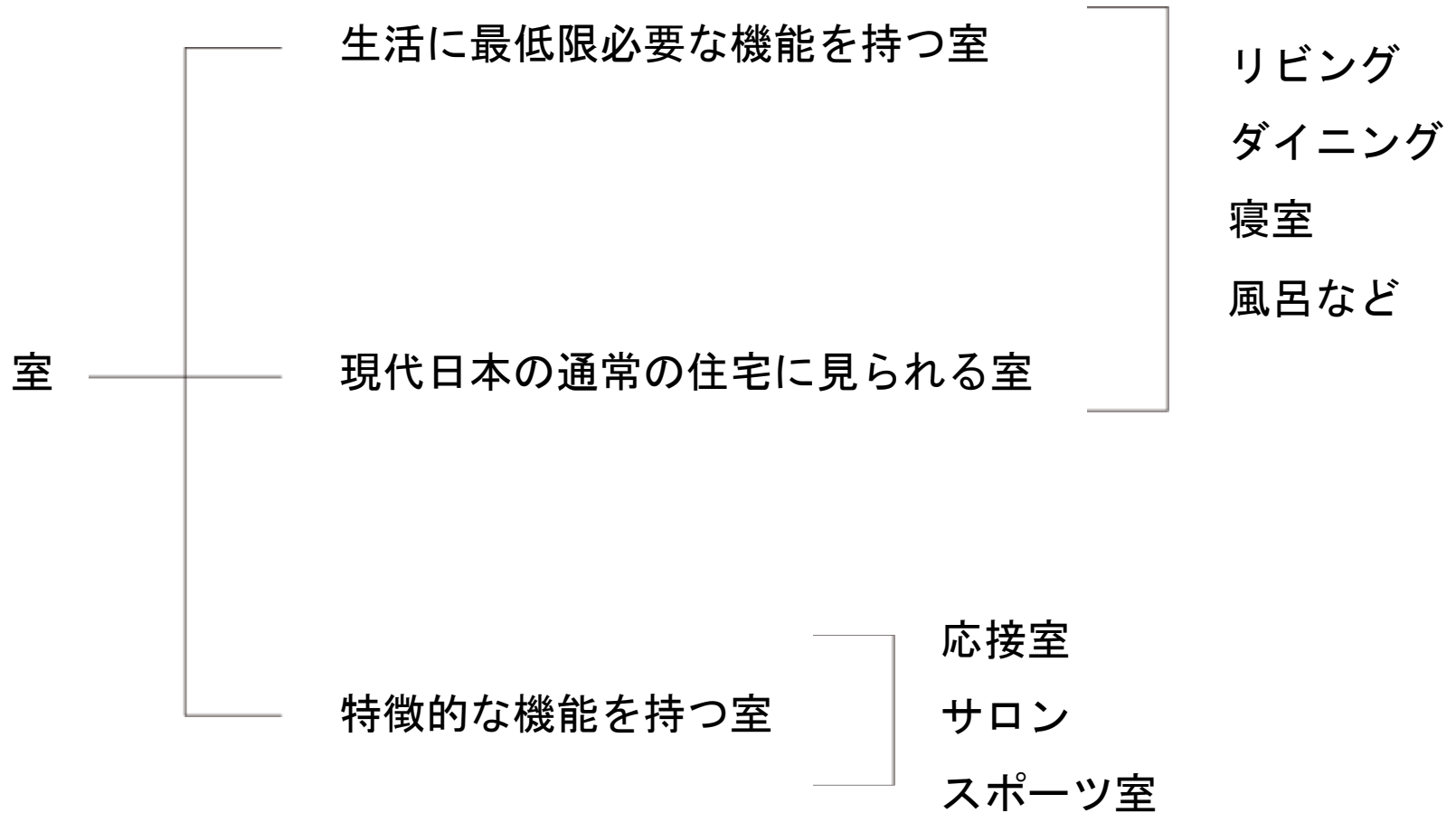
(2) 特徴的な室(住宅内で大きい室)



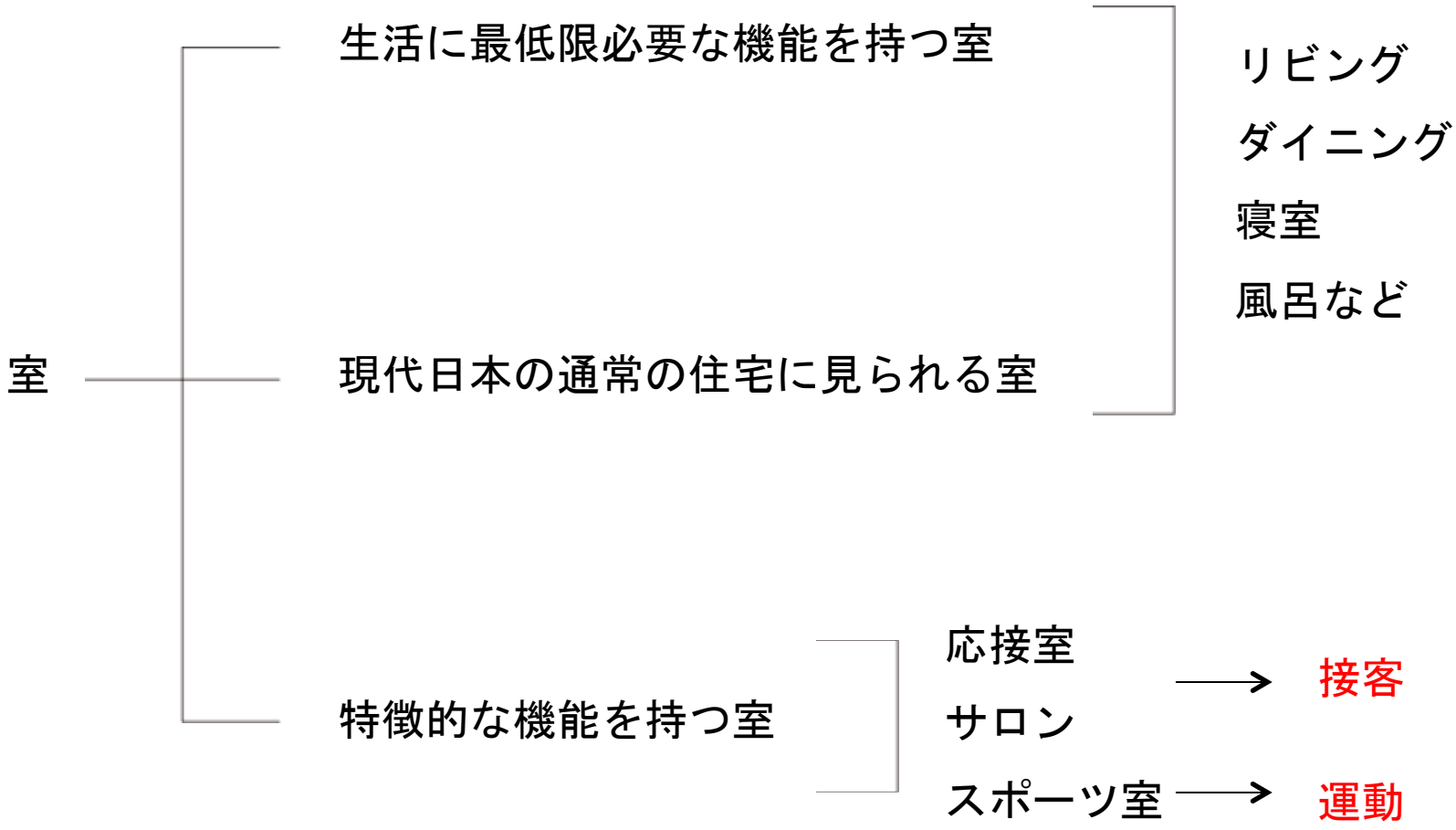
2. 基礎データによる分析

2-2. 面積の大きい空間

(2) 特徴的な室(住宅内で大きい室)



2. 基礎データによる分析
2-2. 面積の大きい空間
(2) 特徴的な室(住宅内で大きい室)



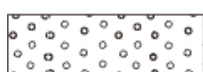
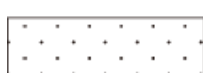
3. 配置計画図による分析

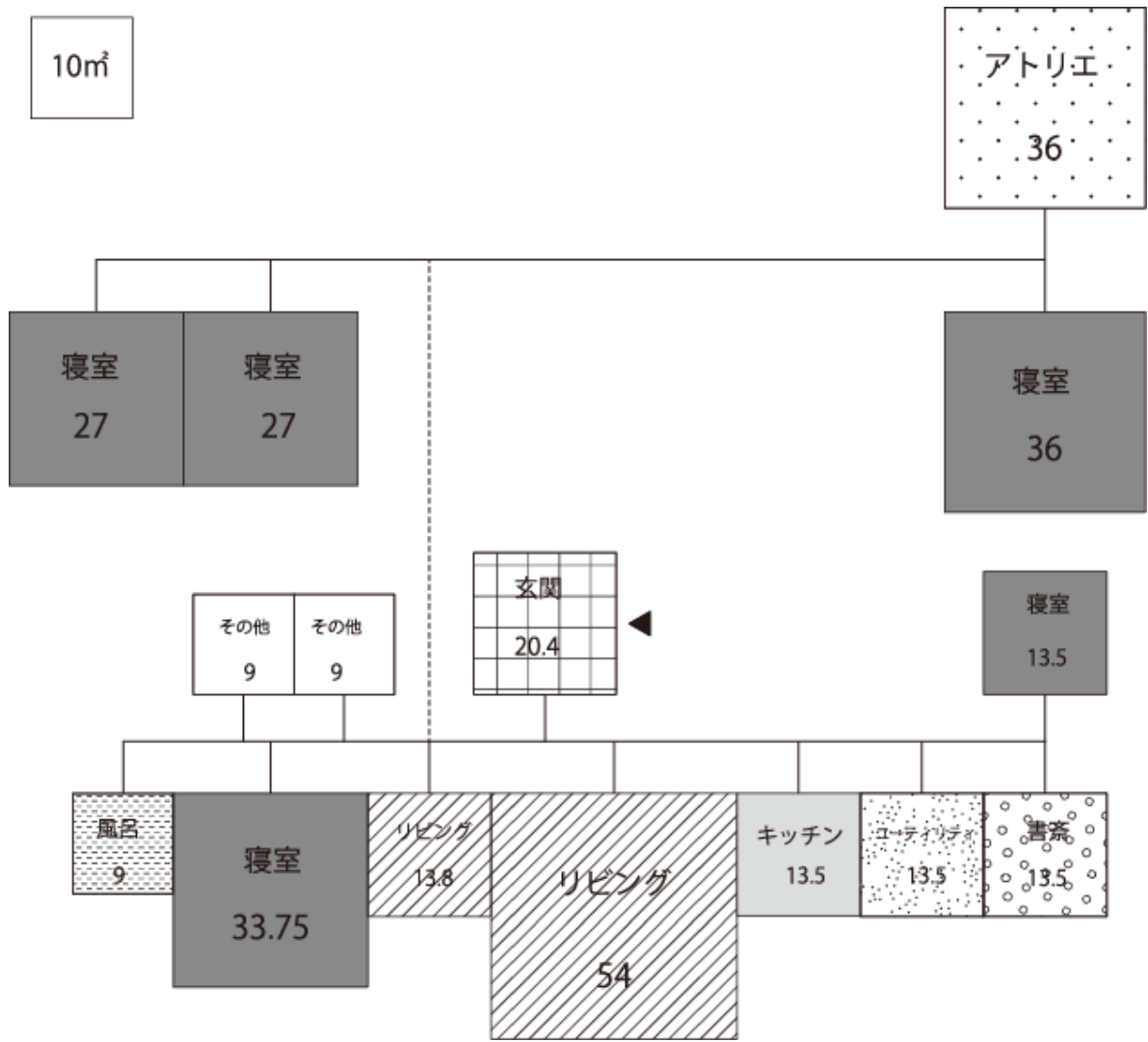
3-1. 分析方法

凡例

室名

面積 (㎡)

- リビング
- 寝室
- キッチン
- ユーティリティ
- 書斎
- 風呂
- アトリエ
- 玄関
- その他



3. 配置計画図による分析

3-2. 分析結果

- ・ 玄関から近い位置に応接室・サロンなどの人が集まる空間が配置されている例が全体の33%ある。
- ・ 配置には大別して二つの方法がある。

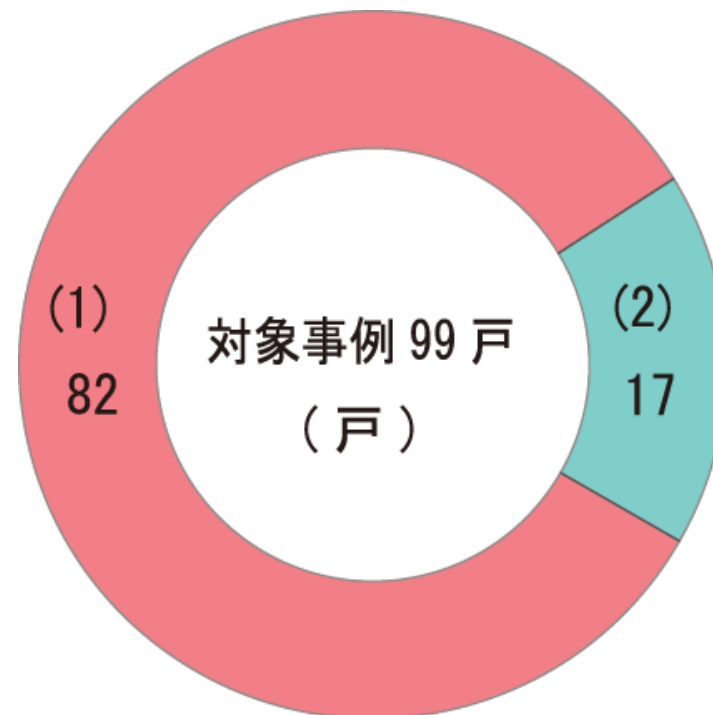
3. 配置計画図による分析

3-2. 分析結果

・ 配置には大別して二つの方法がある。

(1) 廊下空間を置きその両側または片側に室を配置する方法

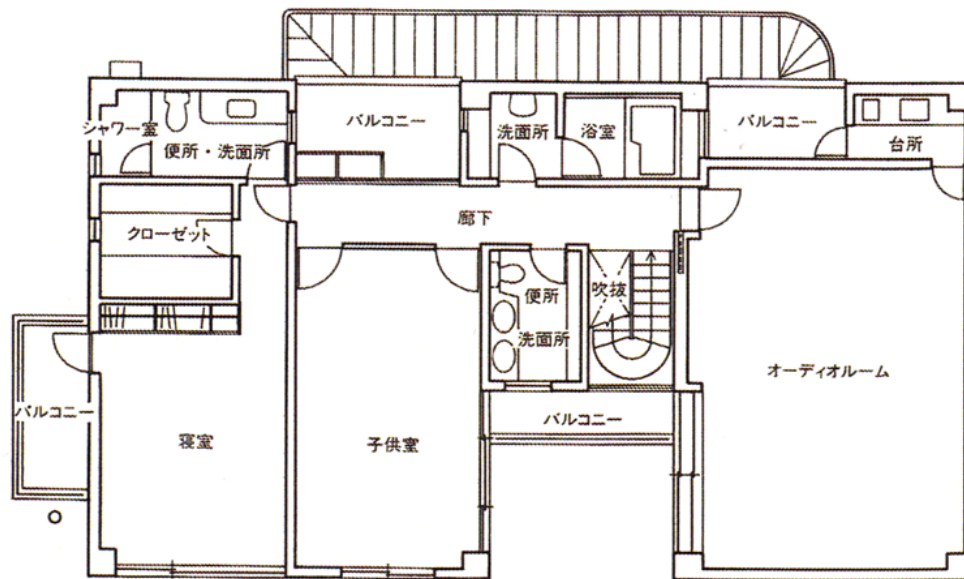
(2) 廊下を設けず室同士を繋げたり、ギャラリーなど別の機能を持った空間を介して室同士を繋げる方法



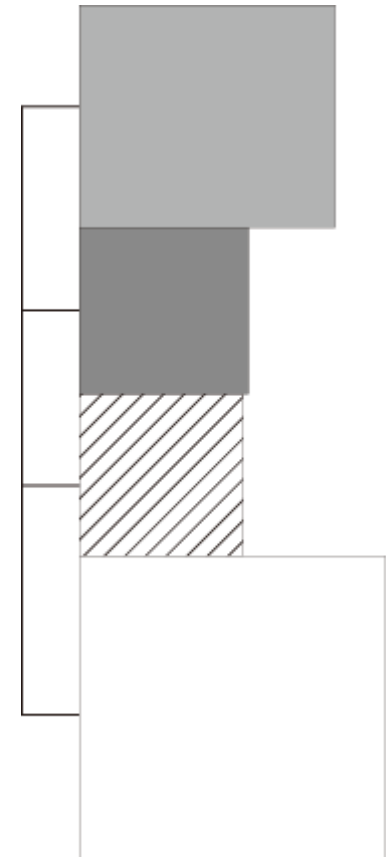
3. 配置計画図による分析

3-2. 分析結果

(1) 廊下空間を置きその両側または片側に室を配置する方法(廊下接続型)



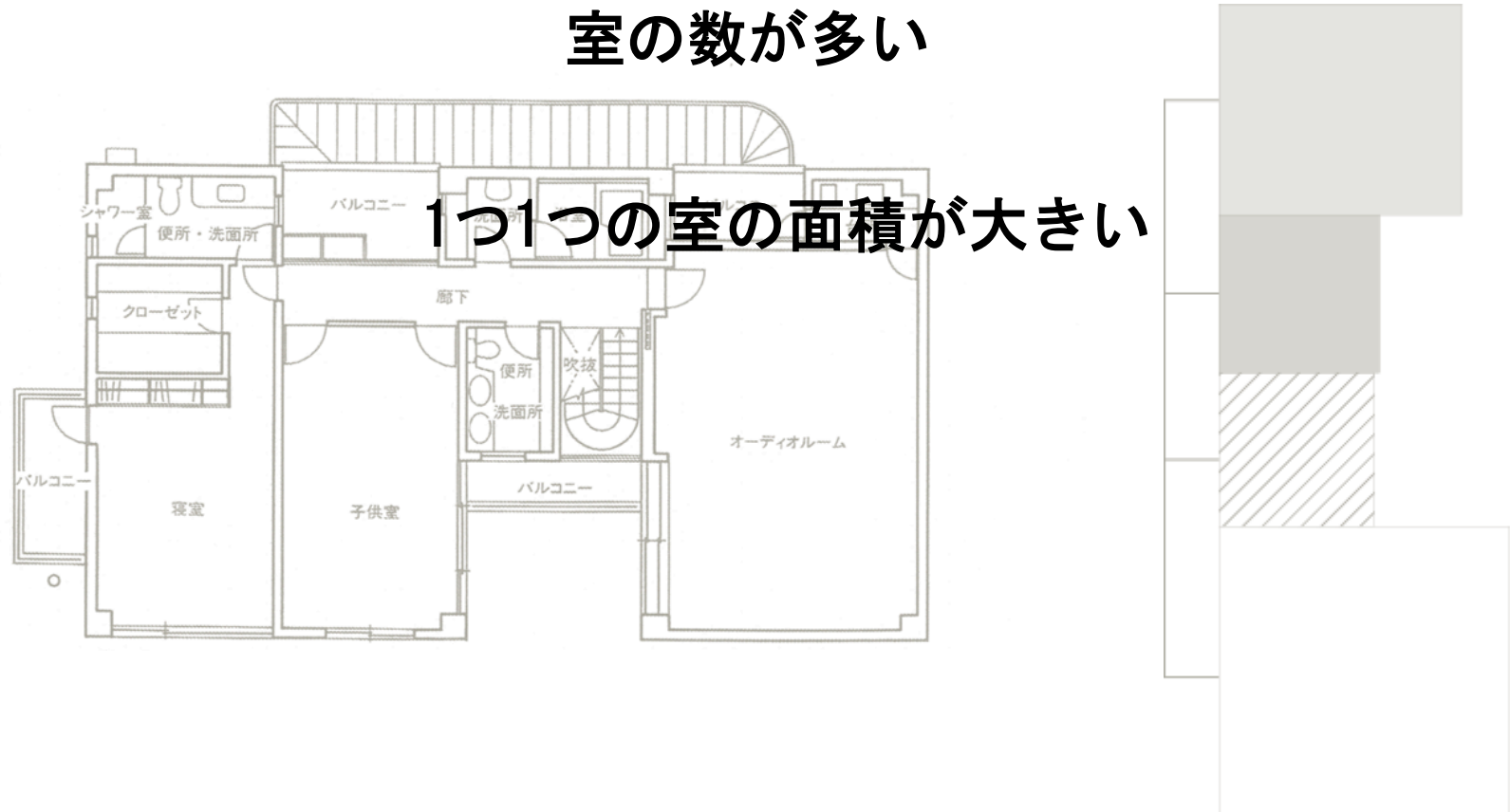
新小岩の住宅



3. 配置計画図による分析

3-2. 分析結果

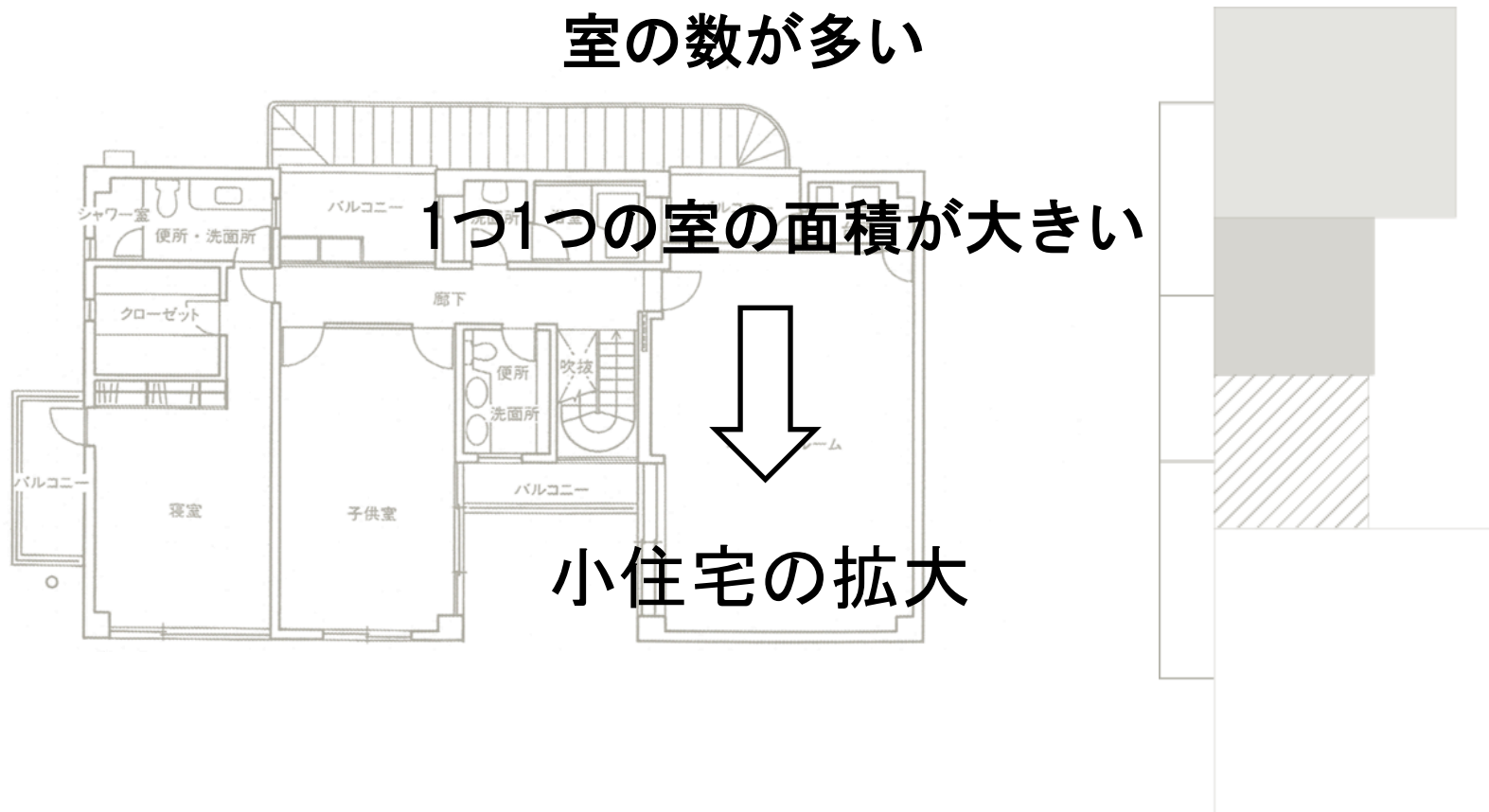
(1) 廊下空間を置きその両側または片側に室を配置する方法(廊下接続型)



3. 配置計画図による分析

3-2. 分析結果

(1) 廊下空間を置きその両側または片側に室を配置する方法(廊下接続型)



3. 配置計画図による分析

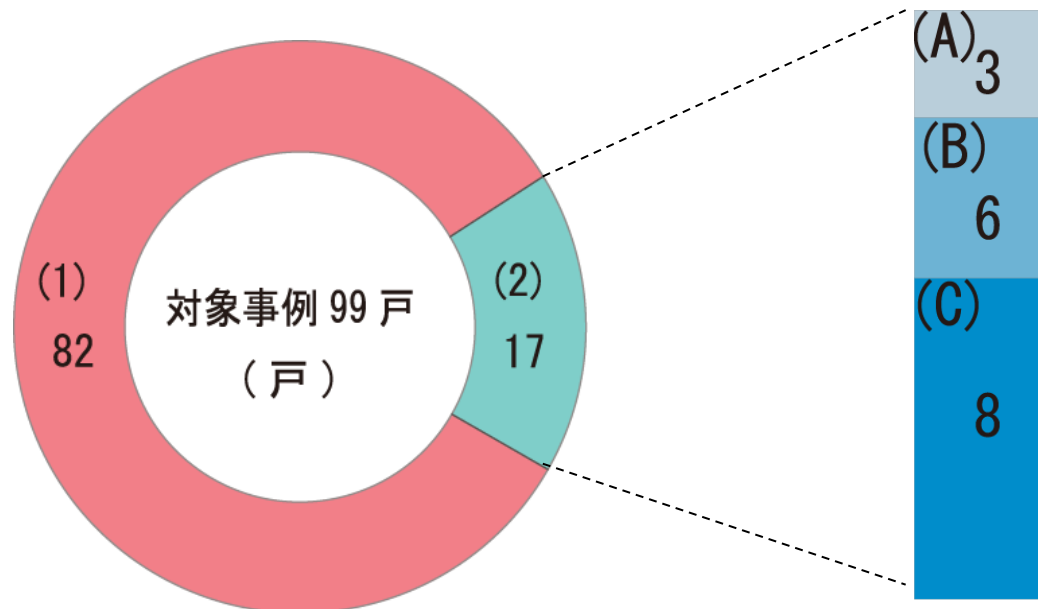
3-2. 分析結果

(2) 廊下を設けず室同士を繋げたり、ギャラリーなど別の機能を持った空間を介して室同士を繋げる方法(室接続型)

(A) 1つの室を中心にして別の室が配置される(中心接続型)

(B) 廊下ではない別の機能を持つ室を介して室を繋げる(他機能接続型)

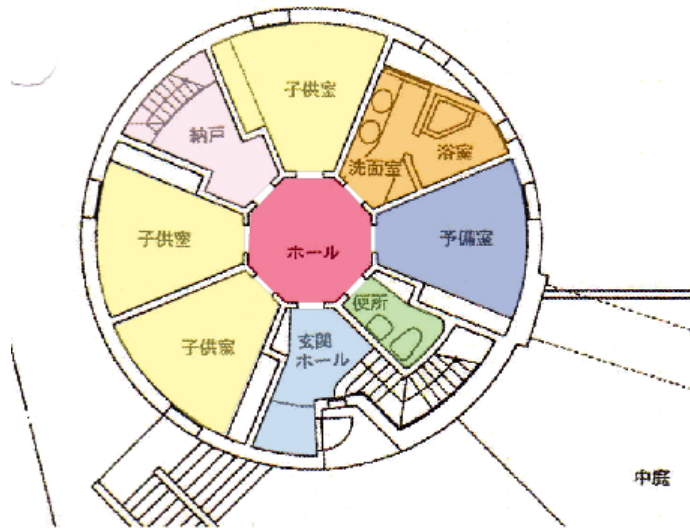
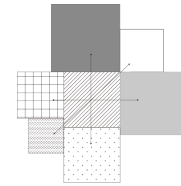
(C) 廊下の幅が広くなり1つの室とも見られるような空間が室を繋げる(無機能接続型)



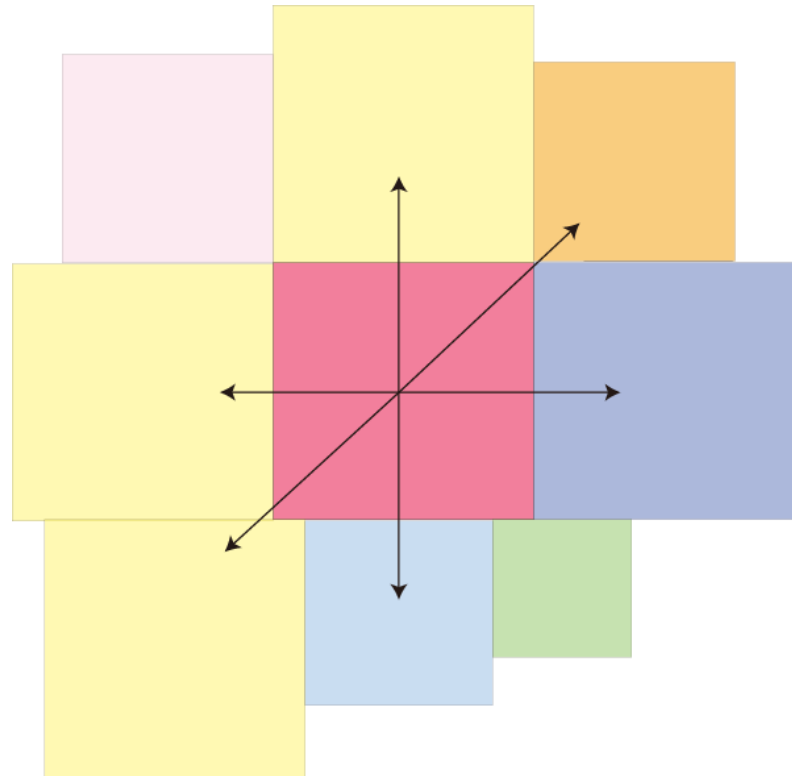
3. 配置計画図による分析

3-2. 分析結果

(A) 1つの室を中心にして別の室が配置される



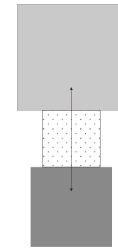
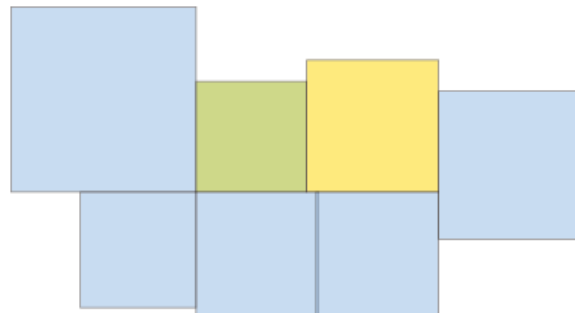
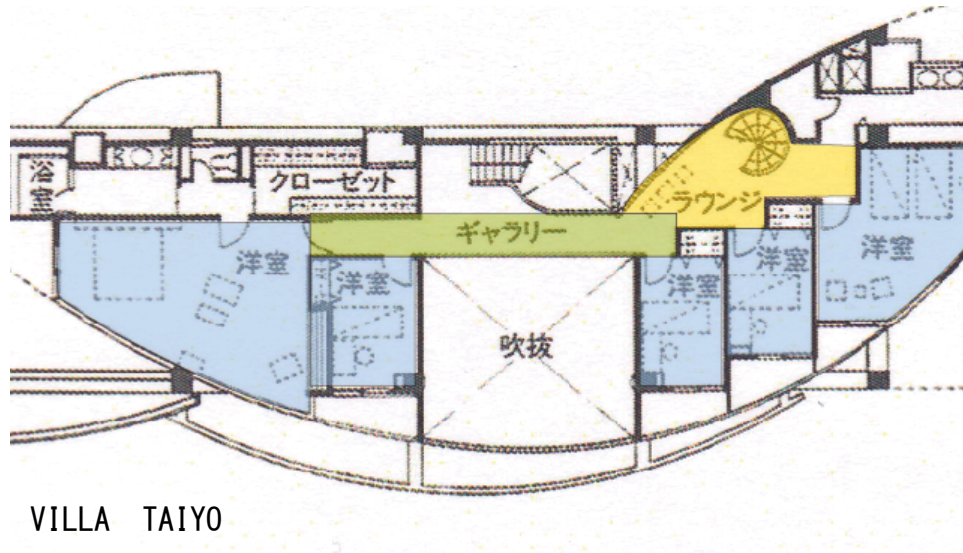
浄土寺の家



3. 配置計画図による分析

3-2. 分析結果

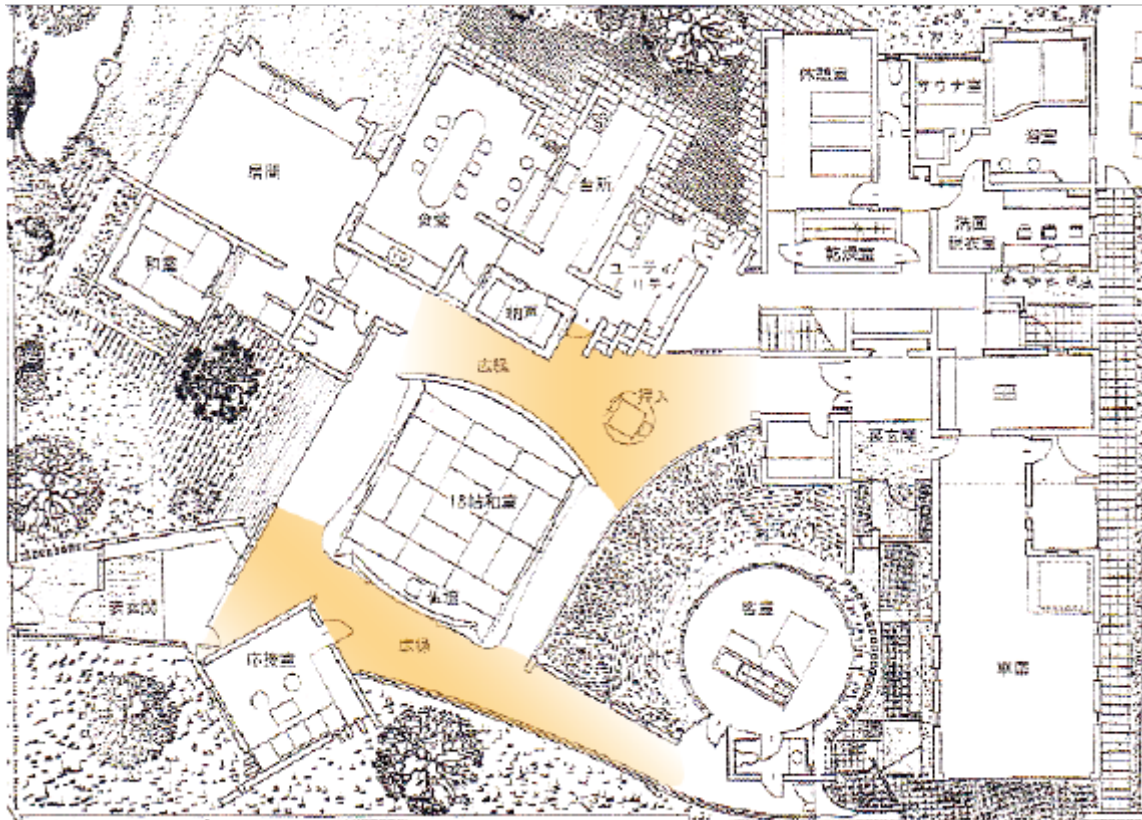
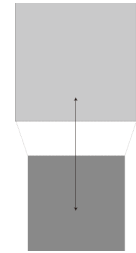
(B) 廊下ではない別の機能を持つ室を介して室を繋げる



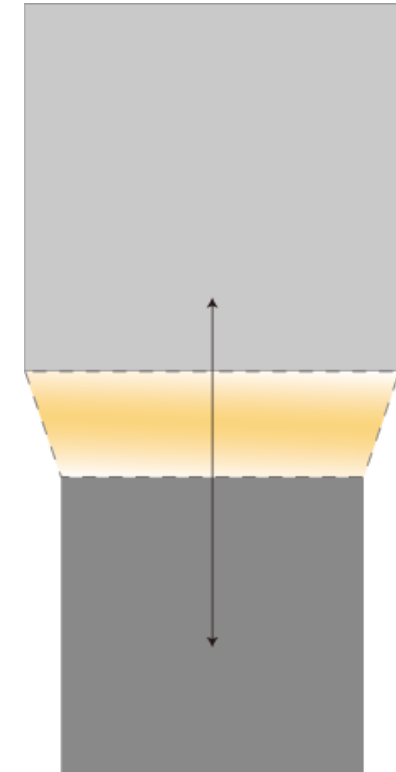
3. 配置計画図による分析

3-2. 分析結果

(C) 廊下の幅が広くなり1つの室とも見られるような空間で室を繋げる



三四郎の家

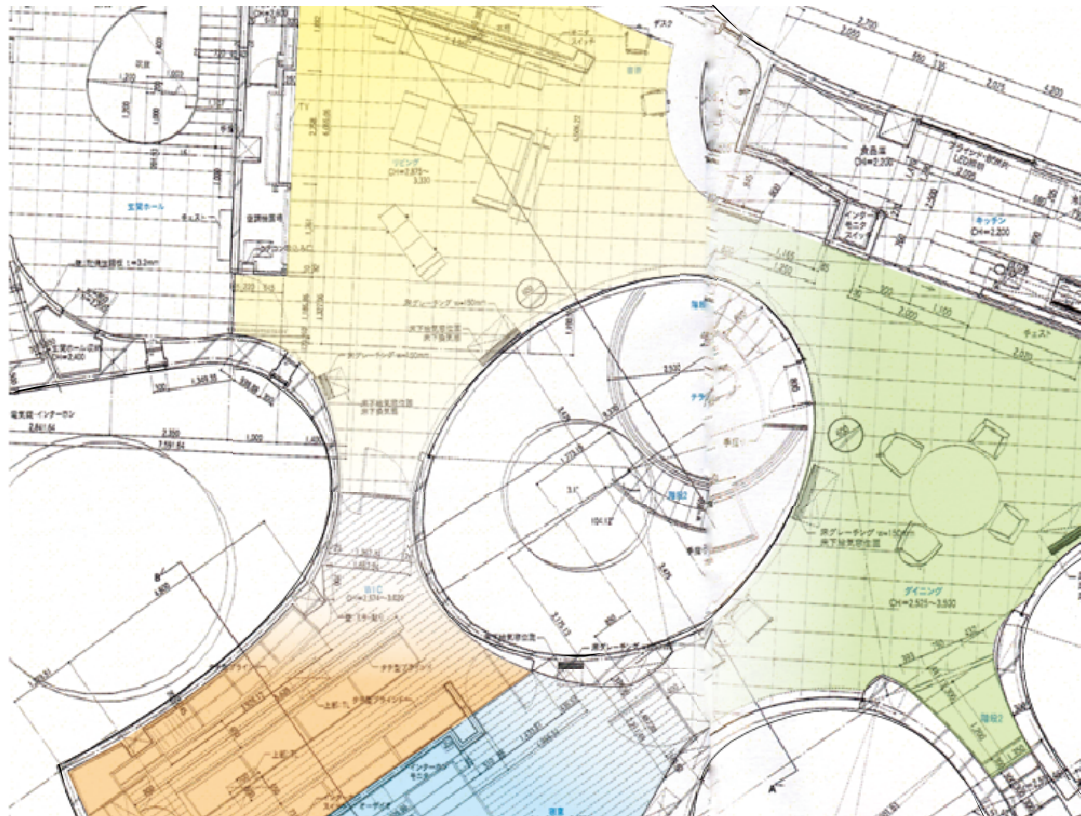
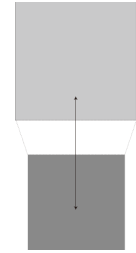


3. 配置計画図による分析

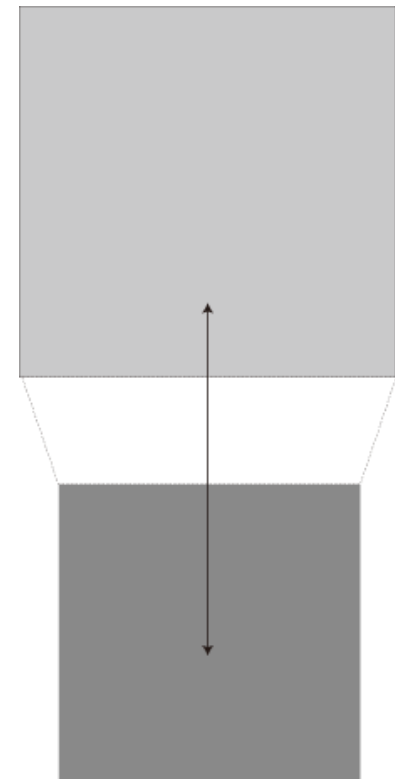
3-2. 分析結果

(C) 廊下の幅が広くなり1つの室とも見られるような空間で室を繋げる

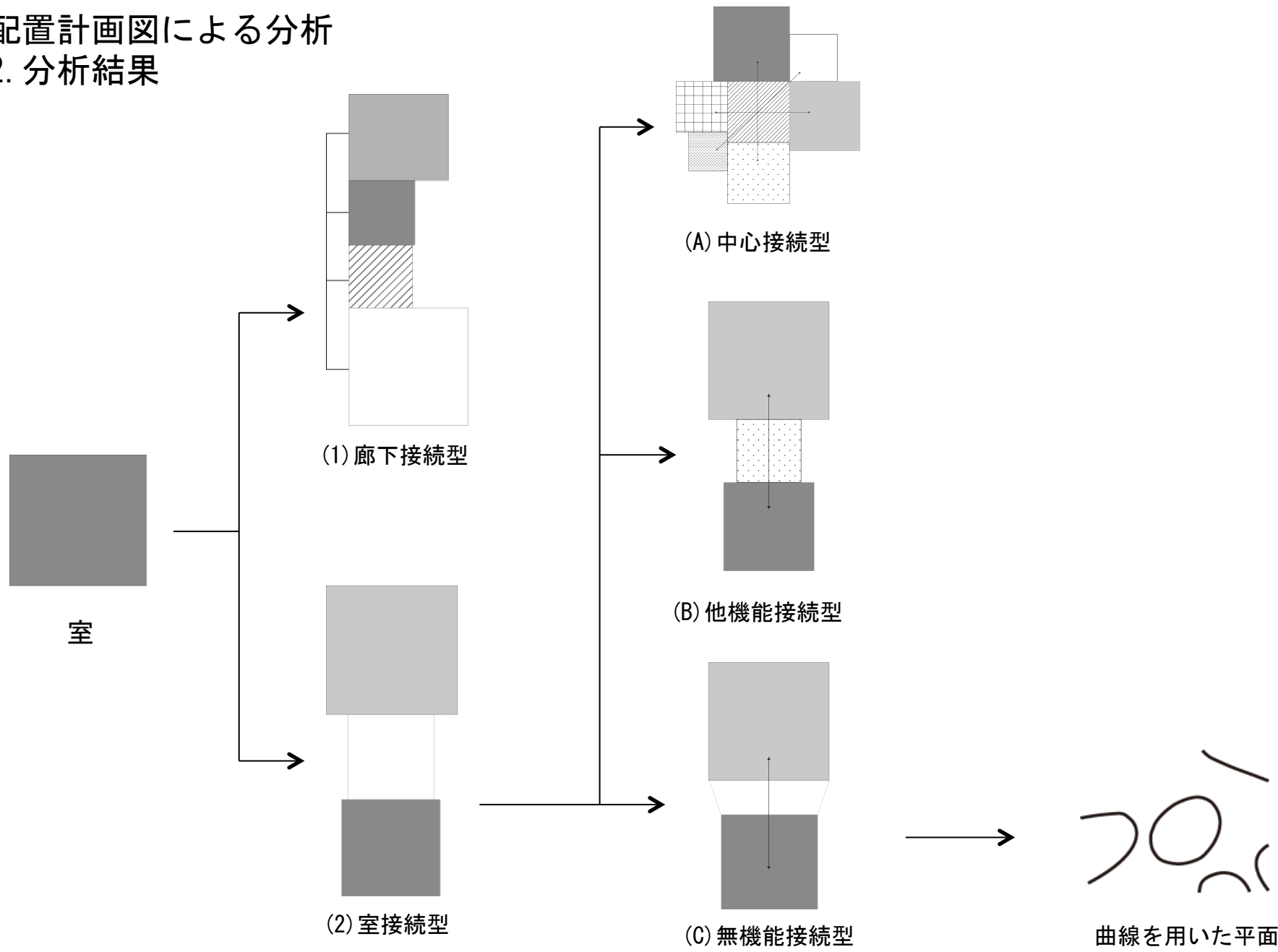
→ 曲線を用いた平面によって、室と室を曖昧に繋げている



楢円の森



3. 配置計画図による分析
3-2. 分析結果



4. 結論

- (1) 生活に不可欠な機能以外の特殊な機能を持つ室
- (2) 人が集まる空間が大きい空間になり、大きなボリュームを挿入
- (3) 小住宅の拡大という方法(廊下接続型)／小住宅の拡大でない方法(室接続型)
- (4) 室接続型の一部は曲線を用いた平面によって、室と室を曖昧に繋げている